

留学支援窓口を倍増

内

ライトハウス、名学館と組む

年

【浜松】学習塾運営のライトハウスエデュケーション(浜松市、松下一徳社長)は留学支援事業を拡大する。全国で個人指導塾をフランチャイズチェーン(FC)展開する名学館ホールディングス(東京・港、佐藤剛司社長)と組み、相談窓口となる塾を募る。2016年中に拠点数を160と現状から倍増し、16年に100人、18年に200人を留学に送り出したと考えた。

ライトハウスの前身となる和田塾は約40年にわたって留学支援を手がけてきた。09年から全国の学習塾を組織化する「ISC留学net」を始め、拠点となる窓口は現在、全国82カ所。これまで延べ約400人の留学を支援した。

ライトハウスは各拠点から紹介された高校生・大学生と保護者に対し、予算や将来の目標、語学力などを基に留学先選びや滞在方法などの相談に乗る。浜松市や掛川市など静岡県西部在住の留学希望者とは直接面談。それ以外の地域ではスカイプなどを通じて相談を受け付ける。

相談窓口の学習塾からは加盟料、利用者からの手数料の半分を徴収する。

つに育てる。